

在外研修概要

一九九九年四月

国際協力事業団

研

JICA
000
36
TAD
BRARY

在外研修概要

JICA LIBRARY

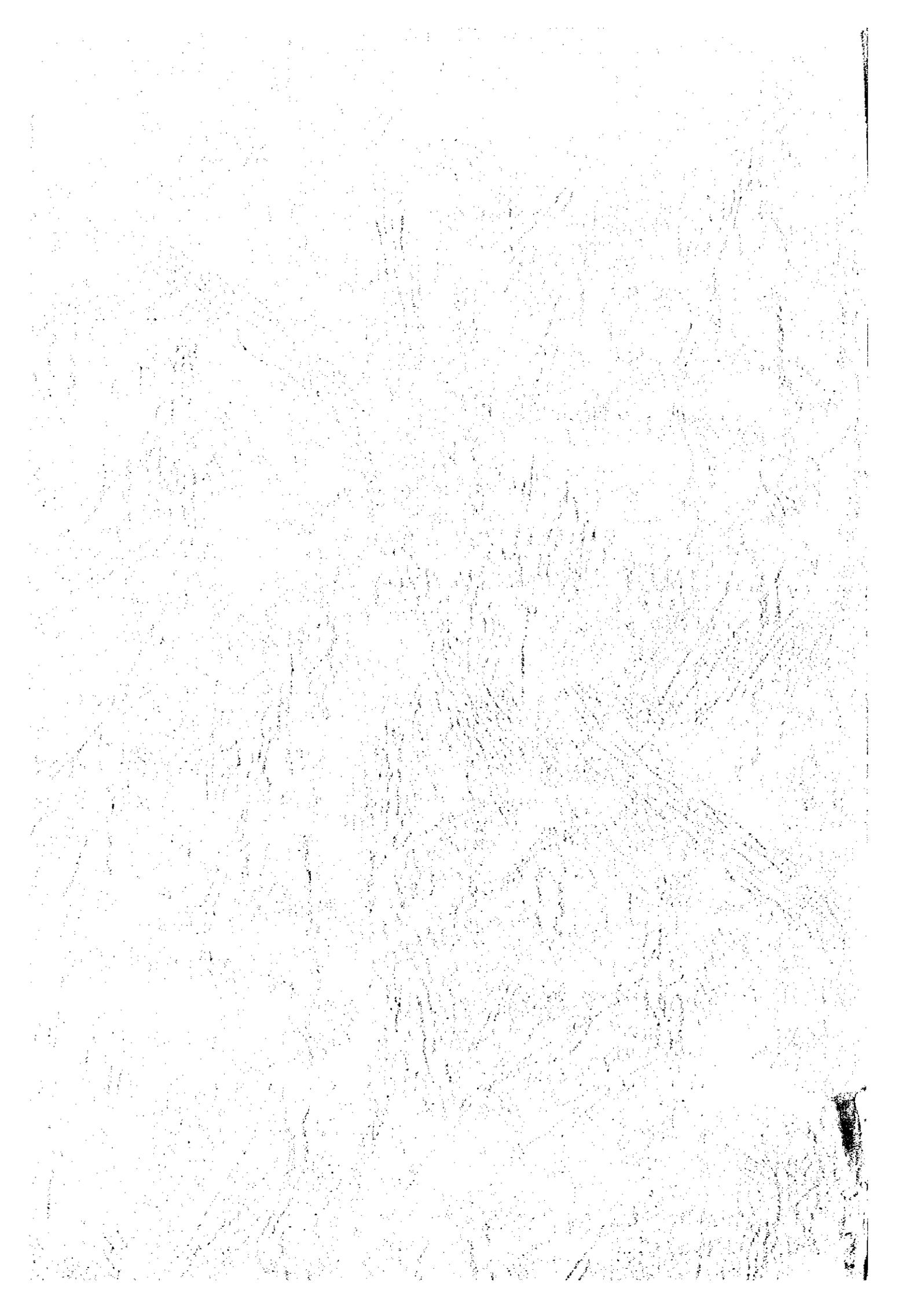


J1151913(9)

1999年4月

国際協力事業団
研修事業部

研管
JR
99-23



在 外 研 修 概 要

1 9 9 9 年 4 月

国 際 協 力 事 業 団
研 修 事 業 部



1151913(9)

目次

1. 第三国研修

(1) 序論

(2) 1999年度第三国集団研修継続(R/D協力期間中) 案件実施計画一覧表	1
(3) 1999年度第三国集団研修新規/延長予定案件一覧表	11
(4) 1999年度第三国個別研修実施計画(新規/継続案件)	13
(5) 1999年度継続分第三国集団研修概要	16

(アジア地域)

インドネシア	動物医薬品品質管理	16
	上級住宅政策総合技術	18
	灌漑排水技術	20
	農業普及方法	22
	病害虫発生予察	24
	TV番組制作及び運営管理	26
	家族計画におけるメディアの役割	28
	電子工学教育	30
	砂防技術・水災害対策	32
	ワクチン品質管理	34
	途上国における農業工学・技術	36
	電話線路・土木監督者訓練	38
マレーシア	アセアン家禽病特殊診断	40
	PFP基準・適合性	42
	女性小規模起業家育成研修	44
	熱帯医学バイオテクセミナー	46
	都市衛生・環境管理	48
フィリピン	中小企業の労働安全衛生改善	50
	HIV感染及びエイズによる日和見感染症の実験室内診断技術	52
	都市環境と交通政策	54
	上級光ファイバー線路技術	56
シンガポール	港湾管理	58
	交番システム	60
	高度情報管理技術(インテリジェント技術)	62
	メカトロニクス	64
	上級経営診断II	66
	環境管理	68
	観光産業従事者の訓練コース開発セミナー	70
	航空情報サービス	72
	生産性向上	74
タイ	水道供給技術	76
	麻薬犯罪防止	78
	農村生活向上における女性の役割	80
	熱帯における持続的農業生産[インドシナ3国対象]	82
	持続的高地農業開発	84
	持続的灌漑システム管理	86
	PFP工業所有権	88
	PFP競争政策	90
	重要家畜伝染性疾病の診断技術と防疫技術	92

	上級電気通信技術	91
	プライマリーヘルスケア	96
	ラオス実務者向け造林普及技術	98
中国	食肉加工技術	100
パキスタン	民間航空輸送	102
	建設機械の操作とメンテナンス	104
スリランカ	情報システム工学	106
(中南米地域)		
パナマ	船外機保守・整備	108
コスタリカ	生産性・品質向上	110
メキシコ	電子制御技術	112
	海運経営・港湾管理講座	114
	教育テレビ番組総合制作	116
	構造物の耐震設計と施工	118
アルゼンティン	国際漁業セミナー	120
	家畜疾病の診断と研究	122
	鉄道電化・近代化	124
	産業用材料のプラズマ処理	126
ブラジル	流域森林管理	128
	野菜生産	130
	熱帯病学	132
	先端製造システム	134
	消化器病診断法	136
チリ	鉱物処理・冶金	138
	光ファイバー伝送システム	140
	貝類養殖技術	142
(中近東地域)		
ヨルダン	電力訓練	144
	医療機材保守 [パレスチナ対象]	146
	システムエンジニアリング	148
サウディ・アラビア	家庭用電気製品の安全性	150
トルコ	地下資源開発・評価	152
	母子保健における視聴覚教材によるコミュニケーション	154
モロッコ	水産教育行政	156
エジプト	稲作技術	158
	看護教育	160
	電気通信 [パレスチナ対象]	162
(アフリカ地域)		
ケニア	応用食品分析	164
	社会林業推進	166
	水質汚染とその分析技術	168
	応用電気電子工学技術	170
	園芸作物の増殖技術	172
	GPS測量セミナー	174

2. 現地国内研修

(1) 序論

(2) 1999年度現地国内研修	新規案件一覧	179
(3) 1999年度現地国内研修	継続案件概要	182
フィリピン	エイズ等診断及び管理	182
中国	環境配慮型野菜生産と流通	181
スリランカ	医療機材保守管理	186
パラグアイ	不耕起による環境保全型畑作栽培	188
ペルー	母子保健・家族計画	190
	漁具・漁法(延縄)	192
タンザニア	マラリア対策II	191

1. 第三国研修

序論

1. 「第三国研修」とは

「第三国研修」とは、我が国が開発途上国に移転した技術を、その開発途上国を通じて周辺国に移転・普及させる日本の技術協力の一形態である。開発途上国自身が我が国の技術的・資金的支援を得て、自国の研修実施機関で周辺国から人を受け入れ研修を行うものである。他の援助供与国でも同様の形態の研修は実施されているが「第三国研修」(Third Country Training Programme : TCTP) という呼称は、我が国独自のものである。

2. 研修の形態

第三国研修の研修形態には以下の二つがある。

- 1) 第三国集団研修・我が国が途上国の要請に基づき、研修実施機関を選定しカリキュラムを設定の上、一定の協力年数を定め(通常5年)、毎年10~15人程度周辺途上国から研修員を受け入れるもの。
- 2) 第三国個別研修・我が国が毎年途上国の研修実施機関を選定の上、他の途上国から小人数(1カ国1~2人程度)研修員を受け入れるもの。

また、第三国集団研修のプログラムの一部を補完研修として本邦で実施し、当該分野の最新の情報の習得を図る等、研修効果の拡充を図る研修(年2件程度)もこれに含まれる。

3. 「第三国研修」の意義

第三国研修の利点は、具体的には以下の5点があげられる。

- (1) 先進国の高度な技術をそのまま移転するのではなく、途上国である開催国の条件下において既に適用・改善された技術の移転を図るため、参加国のニーズにより適合した適正技術の移転が可能となる。
- (2) 本研修制度は、文化的・言語的、また気候・風土的にも似通った一定の地域の国を対象に、その域内の国を実施国として行われるため、研修効果の上がる環境が整っている。
- (3) 本邦で研修を実施する場合に比べてコストが安い(物価、航空賃等)、同じコストでより多くの人々に参加の機会を提供することができる。
- (4) カリキュラムの編成、参加者の募集等研修の運営が実施国主体性、責任のもとに行われるため、実施国の研修実施能力の向上、ひいては、自助努力の促進を期待することができる。
- (5) 途上国内に蓄積されてきた技術・知識・経験等を相互に交換・共有し、共通する開発問題に取り組むことにより、途上国同士が集団的に自立しようという取り組みを支援することができる。

以上、「第三国研修」の利点を5点掲げたが、開発途上国の研修員を先進国に受け入れる従前の技術研修の重要性には変わりはなく、むしろ両者は相互補完関係にあるとの認識が一般的である。

「第三国研修」が脚光を浴び始めたのは、1978年にブエノスアイレスに於いて開催された国連TCDC (Technical Cooperation among Developing Countries=開発途上国間協力) 会議以降であり、同会議で採択された「TCDCの推進と実施のためのブエノスアイレス行動計画」が一つの導火線的役割を果たした。同行動計画は、TCDC推進に関し「各国(開発途上国)レベル」、「地域・地域間レベル」、および「全世界レベル」において、それぞれ採るべき行動として38項目から成る具体的措置を勧告しているが、この中で特に注目されるのは「全世界レベルの行動」に関する部分の中の「国際機関や先進諸国は、TCDCに貢献できるような開発途上国機関に対し、財政支援等を与えること」および、「TCDCが支援できるように、技術協力に関する政策や手続きを改善すること」等を骨子とする5項目である。これらの措置は、元来TCDCは開発途上国自身の自助努力によって推進されるべきものであるが、財政的・技術的制約等の理由により推進が阻まれるケースが多々あるため、主要先進諸国によるTCDC支援活動が不可欠であるとの認識のもとに勧告されたものである。

4. 我が国による「第三国研修」の実施について

我が国による政府ベースの技術協力は、我が国がコロombo・プランに加盟した1954年に始まり、当初数年間、研修員受入事業の一部は「日米合同第三国訓練計画」および「国連訓練計画」等に基づいて行われ、来日する研修員の渡航費や滞在費は米国政府ないし国際機関の負担とし、日本側は講師謝金、国内旅行費等を含む研修実施経費を負担するという費用分担方式を採っていた。このように日本の研修員受入事業も、当初はいわゆる「第三国研修」の形態をとっていたものもあったのである。

我が国が援助国の立場をとった第三国研修は、1975年3月にタイ国のコラート養蚕研修訓練センターをベースに始められたが、以来第三国研修の有効性が内外に於いて広く認識され、それに対する要請が高まりつつある現状を考慮し、我が国はコロombo・プラン協議委員会を始めとして国連機関による会議の場を通じ第三国研修の推進に関し積極的な支持を表明し、自らもその拡充に努めてきた。

近年における我が国の第三国研修実施件数の伸びはめざましく、1998年度においては25の実施国との協力の下に合計108件の集団研修コースを実施した。これら108コースの地域的配分は、アジア・太平洋地域56%、中近東・アフリカ地域22%、中南米地域22%であった。

また、1986年度からは第三国個別研修が行われている。これは、主としてJICAベースによるプロジェクトまたは個別専門家のカウンターパートの研修を第三国にて実施する研修方式であり、1998年は新規・継続合わせて28名の研修員を受け入れた。

なお、1999年度は141 集団コースを33ヶ国の開発途上国において実施する予定である。
個別研修については継続4名を含む47名の研修を実施する予定である。

1999年度第三国集团研修継続（R/D協力期間中）
案件実施計画一覧表

出 発 地	出 発 日	出 発 時	出 発 所	出 発 地 (出 発 所)												出 発 地 (出 発 所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418	1419	1420	1421	1422	1423	1424	1425	1426	1427	1428	1429	1430	1431	1432	1433	1434	1435	1436	1437	1438	1439	1440	1441	1442	1443	1444	1445	1446	1447	1448	1449	1450	1451	1452	1453	1454	1455	1456	1457	1458	1459	1460	1461	1462	1463	1464	1465	1466	1467	1468	1469	1470	1471	1472	1473	1474	1475	1476	1477	1478	1479

1999年度第三国集团研修新規／延長予定案件一覧表

1999年度 第三国集団研修 新規／延長 実施予定案件一覧

	国名	新規／延長	案件名	実施機関
1	インドネシア	新規	都市建築のための持続性ある構造技術	公共事業省人間居住研究所
2	ブルネイ	新規	熱帯林研究	産業・一次資源省林業局
3	マレーシア	新規	自動車電装システム技能訓練	職業訓練指導員・上級技能訓練センター
4	マレーシア	延長	日・仏・マ連携案件	CIAST
5	フィリピン	新規	流域管理のための制度づくり(世銀・FDI連携案件)	公共事業省
6	フィリピン	新規	上下水道に係る適正技術	APPROTECH ASIA
7	フィリピン	新規	責任ある養殖業の発展	東南アジア漁業開発センター養殖部局
8	フィリピン	新規	職業訓練におけるジェンダー配慮	技術教育開発庁(TESDA)
9	フィリピン	新規	教員のための教育技術	教育改革及び教育技術のための東南アジア文相機構地域センター
10	シンガポール	新規	貿易促進	ナンヤン大学
11	シンガポール	新規	公務員向け研修ワークショップ(アフリカ対象)	未定
12	シンガポール	新規	(アフリカ実務者向)債務管理セミナー	シンガポール金融監督庁(MAS)
13	シンガポール	新規	環境分野	未定
14	シンガポール	新規	中小企業の生産性・品質管理	生産性・標準庁
15	シンガポール	新規	金融機関経営健全化のための実務者セミナー	金融監督庁
16	シンガポール	新規	PFPP(経営診断)	生産性標準庁(PSB)
17	シンガポール	新規	PFPP(貿易保険)	生産性標準庁(PSB)
18	タイ	新規	人口・リプロダクティブ・ヘルス	マヒドン大学人口社会研究所
19	タイ	延長	皮膚病学	保健局皮膚病研究所
20	タイ	新規	アジア太平洋地域における障害者や高齢者に優しい街づくりに関する研修	国連アジア太平洋経済社会委員会
21	韓国	新規	共同実施セミナー	
22	スリランカ	新規	デジタルテレビ技術	ルババビニ放送協会
23	スリランカ	新規	植物遺伝資源の保存と管理	植物遺伝資源センター
24	トンガ	新規	貝類増養殖	養殖センター
25	コスタ・リカ	新規	刑務所の生活条件と犯罪者矯正計画	国連ラテンアメリカ犯罪防止研修所
26	メキシコ	新規	リプロダクティブ・ヘルス	保健省リプロダクティブ・ヘルス局
27	ペルー	新規	環境保全及び持続的開発のための防災計画	ペルー日本地震防災センター
28	アルゼンティン	新規	植物ウイルス病の同定と診断技術	国立農牧技術院・植物生理学病理学研究所
29	チリ	新規	土壌・水保全に重点を置いた小流域の総合的管理	森林公社
30	ブラジル	新規	生活排水の処理技術	サンパウロ州基礎衛生公社
31	ブラジル	新規	有毒動物による事故の症状、解毒血清の生産及び有毒動物に関する国際研修	ブタンタン毒蛇研究所
32	ブラジル	延長	老人病学	リオグランデ・ド・スール・カトリック大学老年医学研究所
33	ブラジル	新規	都市内軌道交通輸送に関する国際研修	ポルトアレグレ都市内鉄道(株)
34	ハンガリー	新規	生産性向上	(欧州評議会)
35	ポーランド	新規	東欧情報工学	ポーランド・日本情報工科大学
36	トルコ	新規	地震工学	イスタンブール工科大学(地震防災研修センター教育訓練センター)
37	イラン	新規	職業訓練管理国際セミナー	職業訓練庁
38	ア首連	新規	水産分野	未定
39	ヨルダン	新規	電力訓練(パレスチナ支援)	国営電力公社、電力訓練センター
40	ヨルダン	新規	環境法整備(パレスチナ支援)	王立科学学院(RSS)もしくは王立自然保護協会(RSCN)
41	シリア	新規	農場における効率的な水利用	国際乾燥地農業研究センター

	国名	新規/延長	案件名	実施機関
42	チュニジア	新規	人口家族計画	
43	エジプト	延長	精米処理技術	精米技術訓練センター
44	エジプト	新規	畜産技術	エジプト国際農業研修センター
45	エジプト	新規	建設機械訓練	建設機械訓練センター
46	エジプト	延長	感染症対策	スエズ運河大学医学部
47	エジプト	新規	溶接技術(パレスチナ支援)	中央冶金研究所
48	モロッコ	新規	道路保守技術向上	設備省
49	ザンビア	新規	熱帯地域家畜疾病の診断、予防とコントロール	ザンビア大学獣医学部
50	ケニア	新規	アフリカにおける地域・地方開発計画手法にかかる研修	ジョモケニアッタ農工大学/UNDP
51	ケニア	新規	流体機械の設計、製作およびメンテナンス技術	ジョモケニアッタ農工大学
52	ケニア	新規	農業機械管理	ジョモケニアッタ農工大学
53	ケニア	新規	血液スクリーニング検査セミナー	ケニア中央医学研究所
54	ガーナ	新規	寄生虫対策	野口記念医学総合研究所
55	ガーナ	新規	保健分野(世銀・EDI連携案件)	保健省
56	セネガル	新規	職業技術訓練	セネガル職業訓練センター
57	アセアン	新規	世銀研究所(EDI)との連携案件	未定
58	アセアン	新規	IATEP	未定
59	未定	新規	DPIセミナー	未定
60	未定	新規	淡水魚養殖	未定
61	未定	新規	債務管理セミナー	未定

1999年度第三国個別研修実施計画（新規／継続案件）

1999年度 第三国個別研修 実施計画

繰り越し案件 4件

派遣国名	プロジェクト名 個別派遣専門家名(指導科目名)	研修員氏名	実施国名	実施機関名	研修科目名
1	パラグアイ 加藤 成一(野菜栽培普及)	Mr. Tuan Gayoso	アルゼンティン	国立農牧技術研究所	野菜の病害虫防除
2	パラグアイ 加藤 成一(野菜栽培普及)	Mr. Cesar Daro Zarate Gill	ブラジル	サンタカタリーナ農牧研究普及公社(EPAGRI)	野菜栽培と土壌管理
3	シリア 岡和田 琢也(落枝)	Mr. Abdel Basset Hamduda	エジプト	中央冶金研究所	落枝冶金と溶接技術
4	ギニア 津守 克平(水産開発アドバイザー)	Mr. Toure Kalidou	モロッコ	漁業高等技術学院	水産製造加工

1998年度採択済み案件 2件(実施機関の都合により1999年度に実施)

派遣国名	プロジェクト名 個別派遣専門家名(指導科目名)	研修員氏名	実施国名	実施機関名	研修科目名
1	インドネシア ストモ病院救急医療プロジェクト	Mr. Koeshartono	シンガポール	シンガポール総合病院	緊急医療
2	カーナ 灌漑小規模農業振興計画	Mr. Peter M.D. Abugah	フィリピン	国際稲研究所	稲雑草防除

1999年度新規案件 41件

別当	希望国名	プロジェクト名 個別派遣専門家名(指導科目名)	研修員氏名	実施希望国名	実施機関名	研修科目名
1	カンボジア	カンボディア母子保健プロジェクト	Mr. Nget VITHIA	スリランカ	Division of Biochemical Engineering Services	医療器材修理・保守
2	カンボジア	難民再定住・農村開発	Mr. Tin FESOL	インド	National Institute of Rural Development	貧困緩和及び農村開発
3	カンボジア	奥平 洋(水分)の後任派遣予定者	Mr. Vich YEASNA	タイ	王立漁業局	持続可能な漁業システム管理
4	フィリピン	長谷部 行生(航空行政)	未定	シンガポール	シンガポール航空アカデミー	航空流管理研修
5	インド	新興下痢症対策	Mr. Apama PANDEY	タイ	マヒドン大学アセアン保健開発研究所	プライマリーヘルスケア
6	スリランカ	柿崎芳明(農村開発の管理運営)	Ms. W. M. Sujewa Wanninayakie	タイ	Kassart University, NAETC: Kamphaengseam Campus	農村開発における女性の役割向上
7	バングラデシュ	桑畑 一三(農村開発)	Mr. Syed Kamal UDDIN	インド	National Institute of Rural Development	貧困軽減と農村開発
8	バングラデシュ	鈴木 晋博(農村開発)	Mr. Farazi SHAHABUDDIN	ネパール	Basic and Primary Education Project	Construction of Primary Schools by Community Participation
9	ネパール	学校・地域保健プロジェクト	Mr. Pipal Bahadur CHHETRY	タイ	マヒドン大学アセアン保健研究所 (AIHD)	プライマリーヘルスケア
10	ネパール	牧野 由佳(コミュニティ防災)	Mr. Ram Sagar THAKUR	インドネシア	Agricultural Inservice Training Center	農業普及方法
11	ネパール	村営新興森林保護計画	Mr. Rajendra LIGAL	インドネシア	砂防技術センター	砂防技術
12	ブータン	浅木 隆(鉱山地質)	Mr. Ugyex Dojji	パキスタン	地質科学研究所	科学分析・古地磁気測定
13	PNG	バプア・ニューギニア森林研究計画フェーズ2	Mr. Kipiro DAMAS	インドネシア	ポゴール植物園	植物分類及び保全技術
14	PNG	バプア・ニューギニア森林研究計画フェーズ2	Mrs. Vidiro GEI	マレーシア	マレーシア林業研究所	樹種同定
15	サモア	原 晃(教育システムアドバイザー)	Ms. Iona Chan MOW	シンガポール	Japan Singapore Institute of Software Technology	コンピュータソフトウェア技術
16	ボリビア	サンタクルス医療供給システム	Mr. Germen Eloy TOLEDO HVTID	メキシコ	メキシコ保健省	救急・災害医療システム
17	ドミニカ共和国	原 由郎(漁業振興)	Mr. Jesus Galan JOSE	メキシコ	チハマ地方漁業研究センター	海水魚養殖技術

1999年度 第三国個別研修 実施計画

希望国名	プロジェクト名	研修長氏名	実施希望国名	実施機関名	研修科目名
ニルサルバドール	中川 明 (家畜衛生)	Mr. Arturo Simon MAGANA	チリ	高ナリ大学家畜繁殖、INST	家畜繁殖
パラグアイ	ハラダアイ 職業総合試験場	Mr. Osamu SATO	ブラジル	フランシスコアラサワ種子研究株式会社	大豆種子生産
パラグアイ	ビラール 南部地域農村開発計画	Mr. Cesar Alberto BENITEZ Espinoza	チリ	アウストラル大学動物繁殖研究所	繁殖管理
ハンガリー	ハンガリー生産性向上プロジェクト	Mr. Istvan Mozes	シンガポール	生産性・標準庁	上級経営診断
シリア	東原敷 (発電所運転保守・管理)	Mr. Khalil DIEB	ジョルダン	Zarga-Jordan	アルゴン発電 (JIG)
シリア	伊藤 康広 (発電所運転保守・管理)	Mr. Mohamed Al MASRI	ジョルダン	Zarga-Jordan	交流発電機
ジョルダン	家族計画・WIDプロジェクト	Ms. Shofeh Ali Fliche AL-NAWASSRAH	タイ	カセサート大学NAETC カンパエシヤン・キャンパス	農村開発に於ける女性の役割
ケニア	医療技術教育強化プロジェクト	Mr. Fidelis Lagho Ngugi	タイ	マヒドン大学 アセアン保健研究所	プライマリーヘルスケア
ケニア	安食 和輝 (医療機器維持管理)	Mr. Norman MSHIMBA	スリランカ	医療器材センター	医療器材修理及び保守管理
ケニア	ケニア半乾燥地社会林業推進モジュール開発計画	Ms. Demari Mwendu MUNY	タイ	カセサート大学	農村開発における女性の役割の強化
タンザニア	タンザニア母子保健プロジェクト	Mr. Stanislaw N. TJUMANYWA	スリ・ランカ	生物医工学研究所	医療及び検査機器の保守と修理
タンザニア	前田尚志 (バガモヨ沼漁業普及計画)	Mr. Zuben Shaaban GEMBE	タイ	マヒドン大学 アセアン保健研究所	稲作研究
マラウイ	マラウイ公衆衛生プロジェクト	Mr. Charles C. ZIBA	タイ	マヒドン大学 アセアン保健研究所	プライマリーヘルスケア
マラウイ	マラウイ 在米養蠶養種研究開発	Mr. Sebastian B. UNYOLO	フィリピン	FAC中部ソンン大学 淡水養蠶センター (FAC)	種苗生産・染整・魚病
ガーナ	高橋 千穂 (水田土壌学)	Ms. Issac Owusu KONADU	タイ	国際稲作研究所 (International Rice Research Institute)	稲作研究コース (Rice Production Research Course)
モーリタニア	小木苗 佑春 (水産行政)	Mr. Adah Ould BOUH	モロッコ	漁業高等技術学院	水産/水産加工/航海
モーリタニア	小木苗 佑春 (水産行政)	Mr. Abd Nour Ould HORMA	モロッコ	漁業高等技術学院	水産/航海/機関
エチオピア	地下水開発・水供給訓練計画	Mr. Berhanu MANO Te-shome	タイ	カセサート大学 国立農業普及研修センター	農村開発における女性の役割向上
エチオピア	水野 昭憲 (自然公園管理技術)		ケニヤ	KENYA WILDLIFE SERVICE	生物多様性保全
ウガンダ	ナカフ職業訓練校プロジェクト	Ms. Elizabeth KIRUNGI	エジプト	中央治金研究所	熱処理技術
ウガンダ	ナカフ職業訓練校プロジェクト	Mr. Mayanja FRED	エジプト	中央治金研究所	溶接技術・溶接冶金
コートジボアール	左近允 哲朗 (漁港施設管理)	Mr. Assie Agre MICHEL	モロッコ	漁業高等技術学院	水産製造・加工
セネガル	青野俊一郎 (水産行政アドバイザー)	Mr. Bouhacar THIOUNE	モロッコ	漁業高等技術学院	魚付加価値向上および加工
セネガル	青野俊一郎 (水産行政アドバイザー)	Mr. Pascal Cotane SENE	モロッコ	漁業高等技術学院	航海/漁業